

# 2012年度 第2660地区インターアクト 新入生歓迎会

2011-2012年度 インターアクト委員会 委員  
田中 康正 (八尾RC)

6月3日(日)快晴、舞洲スポーツアイランドに6校のインターアクター72名、顧問15名、ロータリアン28名、事務局1名、合計116名が集合。今年度の新入生歓迎会は、インターアクター達へのエールの言葉“全ての細胞のスイッチをONにして、感動を!”という奥田委員長の開会の挨拶で始まりました。また泉次年度ガバナー・ノミネーより“何事も体験することが大切であり、チャンスは一瞬である”という体験談も伺いました。

その後、全員が8班に分かれて、ウォークラリーに参加。ロッジ舞洲前を出発し、各施設に関するクイズに答えながら2kmのコースを周りました。新入生達も地図を片手に、少しずつ雰囲気慣れた様子でした。

昼食のバーベキューでは、初体験の“火おこし”に挑戦するインターアクター達を、ロータリアンが手助けする姿もありました。満面の笑みで食事を楽しみながら会話もはずみ、学校の枠を越え、世代を越えて親睦を深めることができたと思われま



午後からは、岡部ガバナーにも参加して頂き、“家族への感謝の思い”をテーマに、大阪湾の海底粘土を使った陶芸体験が実施されました。生徒達は、家族又は自分への贈り物として、茶器や小物入れの制作に取り組んでいました。真剣な眼差しで互いに刺激し合いながら、夢中になってロクロを回す様子から、作品への思いが伝わってくるようでした。縄文時代からある土器作りを体験することは同時に、日本文化の理解につながります。

このように一人一人の思いを形に、夢を形にする体験は、今年度RIテーマ“こころの中を見つめよう博愛を広げるために Reach Within to Embrace Humanity”の一つの実戦であったのではないかと思います。また新入生達も友人の輪が広がり、相互理解を深めることにより、さらに奉仕活動の輪が広がることが期待されます。次世代を担う若者の育成に携わり、共に成長できることが私の喜びでもあります。

閉会式では、岡部ガバナーにご講評を頂き、ウォークラリーのクイズ正解者には景品が授与されました。そして、次年度幹事校の浪速高等学校・中学校へと地区旗の引き継ぎも無事終了しました。

最後になりましたが、このような有意義な新入生歓迎会を企画運営されました相愛中学・高等学校の皆様、大阪ロータリークラブの皆様から感謝申し上げます。今後ともインターアクトクラブへのご理解とご支援を、よろしく願い申し上げます。